

総合計画審議会意見

【まちづくりの方向】安全・安心に住み続けられるまち

【まちづくりの土台となる取組】

及び

市民アンケート結果の分析（交通の利便性）

- 本資料は、審議会（全体会及び専門部会）で頂いた主なご意見について、整理した資料です。

2021（令和3）年12月12日

中期計画に関するご意見

【まちづくりの方向1】安全・安心に住み続けられるまちに関するご意見		
分野	主な意見	次期計画への反映等
防災	<ul style="list-style-type: none"> ● 予測し難い自然災害、感染症に的確に対応しうるライフラインを常時構築する必要がある 	分野5「上下水道の基盤強化」の主な取組「1.計画的・効率的な上下水道施設の更新・耐震化の推進」等に位置付け取組を進めます
防犯	<ul style="list-style-type: none"> ● 安全・安心な生活を確保する手法として、地域での見守りや防犯カメラの設置、夜間照明の充実が必要である 	重点施策及び分野2「犯罪が起こりにくい地域づくりの推進」の主な取組「1.防犯意識の醸成と地域防犯力の向上」に位置付け取組を進めます
消防救急	<ul style="list-style-type: none"> ● POSTコロナにおける救急搬送や医療受入体制が課題となっているため、消防・救急体制の充実・強化や他の場所との連携などが必要である 	分野3「暮らしを守る消防・救急体制の充実」の主な取組「2.救急救命体制の充実強化」等に位置付け取組を進めます
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路上のポイ捨てなどゴミ散乱について、市民としてのモラルの向上が必要である 	重点施策及び分野4「脱炭素社会の実現に向けた地球温暖化対策の推進」の主な取組「1.市・市民・事業者が一体となった地球温暖化対策の推進」等に位置付け取組を進めます
	<ul style="list-style-type: none"> ● 脱炭素社会の実現に向けた取組について各家庭や地域でできることを明確に示してほしい 	

中期計画に関するご意見

まちづくりの土台となる取組に関するご意見		
項目	主な意見	次期計画への反映等
時代の潮流を捉えた市政運営	<ul style="list-style-type: none"> ● 使える人と使えない人の格差が広がっているため、高齢者も使いこなせると便利な道具であるため、講座などで支援してほしい ● D Xも活かした行財政運営、市民サービス（情報へのアクセス）の推進が必要である 	取組1「時代の潮流を捉えた市政運営」の「1.人に優しいデジタル社会の推進」に取組の方向を位置付け進めます
	<ul style="list-style-type: none"> ● よりわかりやすい言葉で、正確な情報を発信することが必要である 	取組1「時代の潮流を捉えた市政運営」の「4.戦略的な広報/魅力発信」に取組の方向を位置付け進めます
多様な主体との連携・協働と担い手づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 市民の役割と行政の役割を明確にすることが必要である ● 市民の視点から、自分自身あるいは自分たちが何をできるかを考える必要がある 	取組2「多様な主体との連携・協働と担い手づくりの推進」の「1.産・学・官・民（市民・NPO等）等との連携・協働」に取組の方向を位置付け進めます
	<ul style="list-style-type: none"> ● まちづくりは人づくりである ● 市民と一緒にまちづくり、人づくりができる、仕組みづくりが大切である 	取組2「多様な主体との連携・協働と担い手づくりの推進」の「2.未来を担う人づくりの推進」に取組の方向を位置付け進めます

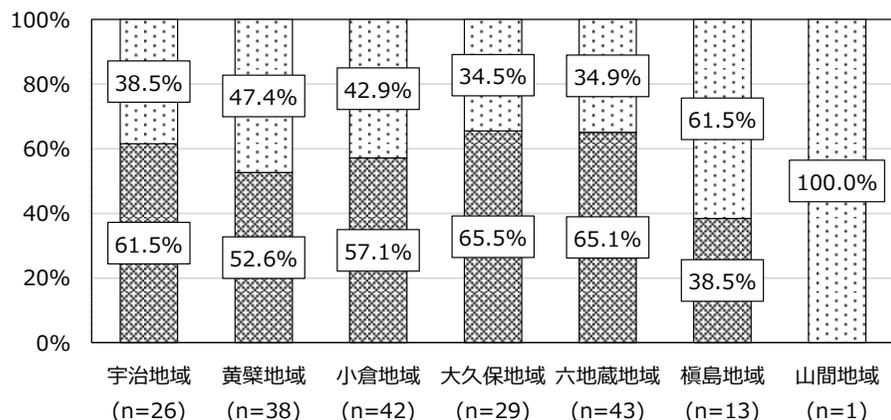
中期計画に関するご意見

まちづくりの土台となる取組に関するご意見		
項目	主な意見	次期計画への反映等
将来を見据えた持続可能な行財政運営	<ul style="list-style-type: none">● 財政運営は効率的な財政運営に努めますという表現で努力目標的な記載にとどまっているため、もう少し踏み込み、厳しい状況を示しながらもどのような方法でこの目標を目指すということを打ち出す必要がある	取組3「将来を見据えた持続可能な行財政運営」の「1.健全な行財政運営の確立」に取組の方向を位置付け進めます
	<ul style="list-style-type: none">● 警察や消防など広域で対応していく必要がある分野は、広域行政（城陽市、久御山町など）での視点を盛り込むのがよい● 災害を含む安心・安全、行政のコスト削減のために広域行政の考えを取り入れてほしい	取組3「将来を見据えた持続可能な行財政運営」の「3.国・府・市町村による広域連携の強化」に取組の方向を位置付け進めます

市民アンケート 宇治市の住み心地及び定住意向の回答理由

宇治市の住み心地と定住意向の回答を選択した理由（自由記述）の結果で、もっともご意見の多かった交通の利便性に関するご意見を記載内容をもとに「地域別」「年代別」かつ「利便性が良い」「利便性が悪い」に分類・集計した結果は以下のとおりです。

地域別に見た交通の利便性に関する意見割合

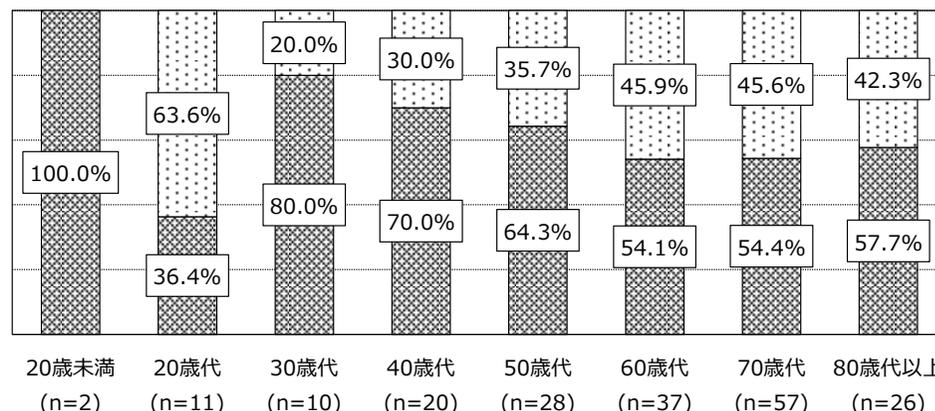


■ 利便性が良い □ 利便性が悪い

- **槇島地域**で交通の**利便性が悪い**というご意見の割合が**約6割**と他の地域と比べて高くなっています。
- **槇島地域と山間地域を除く地域**では、交通の**利便性が良い**というご意見が**半数以上**となっています。

JR、近鉄、京阪など鉄道沿線にお住まいの方や近くに商業施設など場所にお住まいの方は、交通の利便性が良いと感じている一方で沿線から離れた場所にお住まいの方は交通の利便性が悪い感じていると考えられます。

年代別に見た交通の利便性に関する意見割合



■ 利便性が良い □ 利便性が悪い ※年代未回答の1名を除く

- **20歳以下を除く年代**では交通の**利便性が良い**というご意見の割合が**半数以上**となっています。
- **20歳代**は交通の**利便性が悪い**というご意見の割合が**約6割**と他の年代と比べて高くなっています。また、**30歳代から60歳代**で交通の**利便性が悪い**というご意見が**年代が上がるにつれて割合が高くな**っています。

子育て世代など自家用車での移動が多いと考えられる年代は交通の利便性の悪さに対するご意見は少ない一方で、年代が上がるにつれて、免許返納などで日常生活に必要な移動に不安を感じている方が増えると考えられます。